

記入例

農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書

↓申請書提出日を記

令和 年 月 日

清瀬市農業委員会会長 殿

複数名が共有で所有している場合等で書ききれない場合は、別紙(任意様式)をつけてください。

譲受人 氏名 清瀬 太郎
譲渡人 氏名 清瀬 花子

清瀬

清瀬

印鑑は実印を使用

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定し、移転したいので、農地法第5条第1項第6号の規定によって届け出ます。

1 当事者の氏名及び住所	当事者の別	氏名	住所						
	譲受人	清瀬 花子	清瀬市中里一丁目111番地						
	譲渡人	清瀬 太郎	清瀬市中里五丁目842番地						
2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに所有者及び耕作者の氏名、住所	土地の所在	地番	地目		面積 m ²	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
	清瀬市中里一丁目	122番2	畑	畑	120	清瀬太郎	清瀬市中里五丁目805番地	同左	同左
	清瀬市中里一丁目	122番3	畑	畑	100	〃	〃	〃	〃
計	120m ² (田		m ² 畑		120m ² 採草放牧地		m ²)		
3 権利を設定、移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定、移転の別			移転の時期	権利の存続期間	その他		
	所有権、賃借権	設定	移転		令和 5年 7月 1日	永久年			
4 転用計画	転用の目的	戸建て販売/駐車場資材置場/公衆			開発許可を要しない転用行為にあつては都市計画法第29条の該当号				号
	転用の時期	工事着工時期	令和 5年 4月 5日						
		工事完了時期	令和 5年 6月 30日						
転用の目的に係る事業又は施設の概要		日付が未定の場合、おおよその日付を記							
5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	(被害のない場合)	被害が生じる恐れはない 周囲に被害が無いように工事する 等							
	(防除施設を作る場合)	フェンス(ブロック)を設置し、周囲に被害を及ぼさないように留意する コンクリートブロック擁壁を設置する 等							

記載注意

- 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地をそれぞれ記載してください。
- 譲渡人が2人以上で記載欄に記入できない場合は、別紙に本届出書と同じ様式で記載してください。
- 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入してください。